

2012年春号

五省会ニュース

ご せい かい

NO.180

特定医療法人財団五省会

西能病院

整形外科センター 西能クリニック

西能みなみ病院

介護老人保健施設 みどり苑

発行人 西能 淳

新病院開院記念号



感謝を胸に 新たな半世紀へ

本年四月、新しい「西能病院」ならびに「整形外科センター西能クリニック」での診療がはじまりました。

このたびの新築事業は、整形外科の急性期医療機能を集約した先進的な病院を新設するという、当財団五省会にとって十年来の念願を実現させるもので、平成十九年秋、建設用地の選定から事業に着手しました。

翌年、富山市高田を移転候補地とし、地元町内会や地権者の皆様との協議を重ねる傍ら、同年秋に設計コンペを開催。九社の応募作品から横浜のヘルム建築・都市コンサルタントと鹿島建設の共同企業体をパートナーに選定し、設計作業が本格化しました。全国的に名高い整形外科病院を視察に回り、診療の合間にスタッフミーティングを繰り返しては、これからの医療に求められるニーズや着想を設計図に盛り込んでいきました。候補地が市街化調整区域でかつ汚染田の土壌復元事業の対象地であったことから、開発行為、農地転用などの許可申請も複雑化し、富山県、富山市の各行政機関との調整も多岐にわたりました。

完成までの四年半の歳月には、実にさまざまな出来事がありました。今その歳月を万感の想いで振り返り、昭和三十七年の開院以来ちょうど半世紀の節目に新病院の発足を迎えることができましたのも大勢の方々のお力添えの賜物であると痛感するばかりです。

神明地区の地域住民の皆様、病院建築に従事された技術者や職人さん、金融機関・納入業者などお取引先、地域の医療機関の先生方、そして日頃から当院をご利用になっている患者さん。本事業を通じてご支援をいただいた方々は数知れず、この場をお借りして心からの感謝と御礼を申し上げます。

私ども職員一同は、そうした皆様のご厚志を糧とし、この真新しい建物に医療者の心を刻み込んで、これからも「信頼と奉仕」の医療に力を尽くしてまいります。

皆様におかれましては、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医療法人財団五省会
理事長 西能 淳

整形外科センター

西能クリニック

ORTHOPAEDIC SURGERY CENTER
SAINOU CLINIC

診療科 整形外科／リハビリテーション科
リウマチ科

概要 土・日・祝日も診療を行います

院長 山田 均



この度、西能病院からクリニック部門を分離した形で、新たに「整形外科センター 西能クリニック」が誕生いたしました。

旧西能病院におきましては、300名前後の外来患者さんが来院され、付き添いのご家族も含めると大変な数の方々が施設内を出入りされます。このことは、入院患者さんの立場から考えると、騒音やプライバシーの観点に加えて、防犯上のリスク、感染症のリスクも高まることとなり、決して好ましい環境ではありません。また、多くの外来患者さんがわかりやすい動線のもと、円滑に診療をうけることのできる環境も必要であるという考えにもとづき、入院部門と外来部門の分離を行ないました。

特徴としましては、

- 多くの自然光をとり入れた明るく広い待合スペースに、ゆったりとしたソファを配置
- 8つの診察室を設け、診察を円滑化
- レントゲン検査室、リハビリ部門への動線をシンプルにわかりやすく
- 2階を外来患者さん専用のリハビリスペースとし、ハイレベルのスポーツ選手も早期に復帰できるよう最新のトレーニング機器も整備
- リウマチ科を新設

皆様のご期待にこたえられるよう、質の高い医療を目指してまいります。

西能病院

SAINOU HOSPITAL

診療科 内科／麻酔科
整形外科／リハビリテーション科

概要 整形外科疾患の入院に対応します [97床]

病院長 増田 明



西能病院は4月1日、五福から新築移転いたしました。建物が新しくなっただけでなく、将来の医療のあり方を取り入れた診療をおこないます。

入院治療の必要な患者さんは「西能病院」、外来での診察やリハビリの患者さんは「整形外科センター西能病院クリニック」で診療します。簡単に言えば、旧西能病院の1階が整形外科センター西能病院クリニックに、2階以上の部分が新・西能病院になったというイメージでしょうか。

特徴としては、

- 見晴らしがよく、ゆったりと安楽な病室
- 病室に直結したリハビリスペース
- くつろいでいただける広いデイルーム
- 最新鋭の手術室設備

その他、紙面には書ききれないほどの特徴や優れた機能を有しています。そして、なにより、経験を積んだ医師、看護師、リハビリスタッフなどが治療にあたります。

過去10年間に、整形外科の病気やけがのため西能病院で手術を受けた患者さんは1万人を越えています。富山市の人口を約40万人とすれば、40人に1人が西能病院で手術を受けていただいたこととなります。

今後も、整形外科の急性期医療の専門病院として地域医療に貢献していきたいと考えています。

診療のご案内

整形外科センター

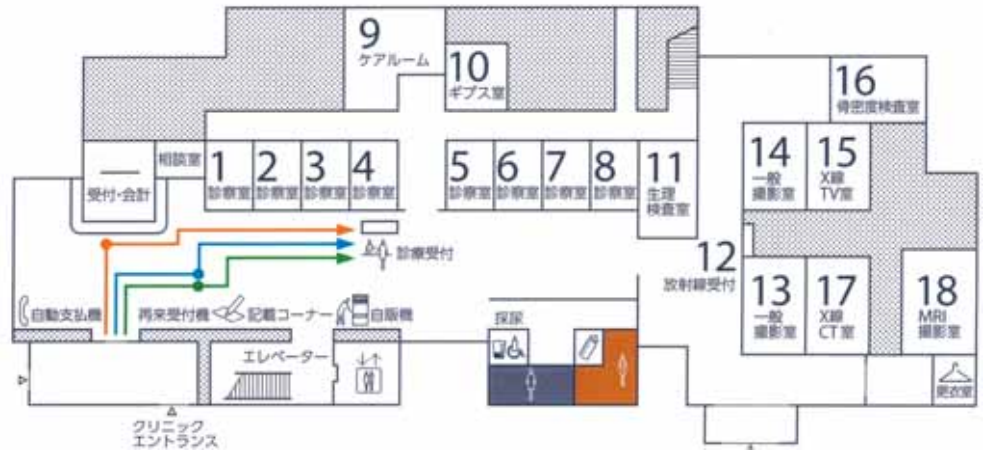
西能クリニック

整形外科/リハビリテーション科/リウマチ科



⑥会計(左) ①初診受付(正面)

- 初めての方【予約のない方】 →
- 再来・検査の方【予約のある方】 →
- リハビリの方【予約のある方】 →



- ①初診受付 はじめての方は、受付へお越しください。
- ②再来受付機(入口右手) 再来・検査の方(予約のある方)は診療券を再来受付機に入れて受付を済ませ、プリンターから出てくる「外来受診票」をおとりになり、備え付けのクリアファイルに外来受診票と診察券を入れて「診療受付」へご提示ください。
- ③記載コーナー 「診察申込書」や「診察券紛失届」などで記入になり、①初診受付へおもちください。
- ④診療受付 待合ロビーの中央に診察受付があります。こちらで担当医診察室や検査、リハビリ(2F)などのご案内をします。
- ⑤待合ロビー 担当医師の診察室前のソファーに掛けておまちください。順番にお呼びします。
- ⑥会計 診察が終わりましたら、クリアファイル一式を会計にお出しください。
- ⑦自動支払機 計算が済むと会計左の掲示板に受付番号が表示されますので、自動支払機で清算をお願いします。



③記載コーナー(左) ②再来受付機(右)

西能病院

内科外来/麻酔科外来/整形外科/リハビリテーション科
 ※整形外科とリハビリテーション科は予約外来・救急外来のみとなります。



西能病院エントランス



受付をされたあと、診察室前ソファーでお待ちください



④診療受付



放射線科受付(待合ロビー北側)



⑦自動支払機



⑤待合ロビー

●手続きや順路などにつきましては、受付または診療受付でお気軽におたずねください。

2枚のレリーフ



玄関ホールには、前を通る患者さんたちを見守るかのよう
にふたつのレリーフが並んでいます。

西能病院の創立者・西能正一郎初代理事長とその弟で二
代目の西能弘前理事長です。

県内初の整形外科診療所としてスタート、五福に西能病
院を開き、整形外科各分野の専門医を育て、兄弟二人三脚
で五省会の発展に尽してきました。このレリーフは、つね
に未来を見据えて地域医療にたずさわってきた二人の足跡
を刻み、「信頼と奉仕」の伝統を受け継いでいきたいと、職
員団体である互助会より病院に寄贈されました。

レリーフは高岡市の彫刻家・榎原北悠さんが制作し、新
病院のサインや広告物を設計した島津勝弘さんがプレート
全体のデザインを担当しています。



手術室

病院の心臓部である手術ゾーンは3つのクリーン手術室を備えてい
ます。写真は手術中の傷口を最小限にすることで回復を早める関節鏡
視下手術専用手術室で、内視鏡の映像や画像診断のデータ等を多機能
に活用できる映像システム「デジタルオペルーム（スミス&ネフュー社）」
を北陸で初採用しています。



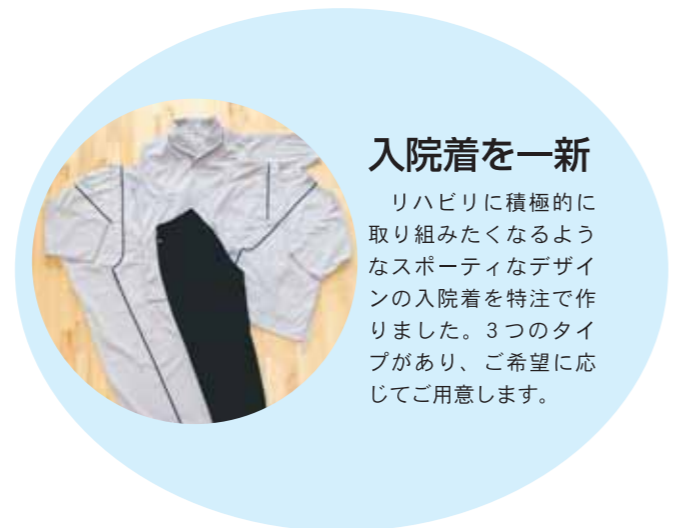
スタッフ
ステーション

スタッフステーションは病棟機能の中心であり、医師、看護師、理学療法士や作業療法士、介護職員などの多職
種のスタッフがチームとなって患者さんの治療を支えています。すぐ前にはリハビリフロアがあり、リハビリ中
の患者さんの状態をいつでも確認できるようになっています。患者さんやお見舞いの方とのコミュニケーションを高
められるよう、ローカウンターの開放的なつくりとしています。

リハビリ
テーション
フロア



リハビリテーションは、患者さんにとって日常への復帰に向けた自
然な活動であることから、区切られた「治療室」という概念から、ロビー
のようなオープンなゾーンで、すこやかな気分で訓練や運動に取り組
んでいただけるような空間となっています。



入院着を一新

リハビリに積極的に
取り組みたいくなるよ
うなスポーティなデザ
インの入院着を特注で
作りました。3つのタイ
プがあり、ご希望に応
じてご用意します。



新しい西能病院のコンセプトは、高度な
診療機能と快適な療養環境を兼ね備えた「選
ばれるホスピタル」の実現です。
年間一千万を超える手術をおこなう急性
期病院としては、先進的な設備や機器を導
入し、診療面で高品質な機能を備えること
が優先されます。けれども、機械的な機能
だけが前面に出ると「人が人に接するホス
ピタル」という場所の活力が失われ、治
療に取り組もうという患者さんの気持ちが
損なわれかねません。
新病院では、患者さんが本当の意味で快
適に前向きに治療に専念できる環境づくりに
こだわり、アメニティやデザインの細部
にまで工夫や配慮を凝らしました。その一
部を写真でご紹介します。

ダイニング



自宅の居間のように、食事をしたり、お茶を飲みながら歓
談したり、ゆとりのスペースとしてお使いください。3階からは
城山の展望が楽しみいただけます。

病室



病室は、日常の暮らしを離れて入院される患者さんにとって、もっとも多くの時間を過ごされる「プライベートな空間」。
くつろぎや安全を確保するのはもちろん、全病床のベッドサイドにデスクと椅子、収納や鏡を設置し、横になってばかりに
なりがちな入院生活でも張り合いを感じていただけるような設えとしています。

個室は3つのタイプを用意し、ニーズに応じて設備や広さをお選びいただけるようにしています。写真右はシティホテルを
参考にしたお部屋で、専用のシャワールーム、ソファ、壁付けの大型テレビ、DVDプレイヤーなどを備えています。

新病院竣工式を挙げる



約200名の参会者をお迎えして挨拶する西能五省会理事長

3月20日、建築中だった西能病院、整形外科センター西能クリニックが無事完成し、工事関係者、近隣医療機関の先生方など約二百名の列席者をお迎えし、竣工式典を行いました。当日は西能病院

旧病院から新病院へ引っ越ししました

3月30日午後から4月1日にかけて、悪天候のなか新病院への引っ越しをおこないました。

医療機器や設備、備品の移設も大仕事ながら、何よりも入院患者さんを安全第一で移送することが最優先されました。



の創立50周年に当たる記念日でもあり、西能理事長より「県内初の整形外科医院として出発した当院の伝統を継承し、新しい施設でもこれまでに以上に信頼の医療を実践していく」との決意が語られました。

続いて、長勢甚遠衆議院議員、遠藤俊郎富山大学長、岩城勝英県医師会長からご祝辞をいただき、各方面からお花や電報など多数のご祝意も頂戴しました。心より御礼を申し上げます。

同日午後からは、自由参加の内見会を開催。病院施設や最新の医療設備を、地域の方々や業界関係者にお披露目いたしました。



医局を見学する医師ら

医師や看護師が総力を結集し、みなみ病院・みどり苑職員の応援、関連業者さんのお力添えもいただき、1日のお昼頃には順調に患者さんのお引っ越しを終えました。安心したのも束の間、翌2日には外来患者さんも大勢お見えになります。不慣れを言い訳にできないのが医療現場。各部署とも準備に大忙しのなか、クリニックではスタッフが患者役にあって診療順路の確認や情報システムのテストを行い、開院初日に備えました。

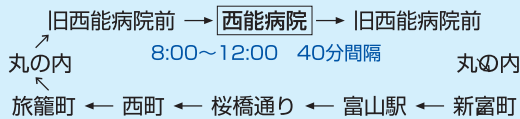


旧病院の最終日、待合室で撮った記念写真

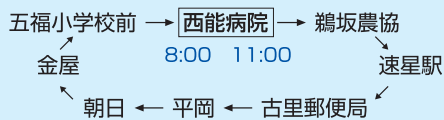
無料通院バス 月曜～土曜 午前運行【日・祝日は運休】

乗り場は西能クリニック玄関前です。各停留所・その他の場所でも、バスが来たら手をあげて合図してください。

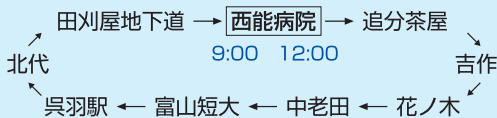
①市内コース



②婦中コース【速星・長沢・金屋】



③呉羽コース【茶屋町・中老田・北代・田刈屋】



※当分の間、旧病院前に停車します。
※時間が変更になっておりますのでご確認ください。

西能病院・西能クリニック周辺地図



旧西能病院より県道56号線を南へ約1.5km

西能みなみ病院 整形外科診療を開始しました

西能みなみ病院では4月より診療科目に「整形外科」を新設し、外来診療を開始しました。

これは新しい西能病院の診療機能が整備拡充されたことを受けて、グループ全体として地域の医療ニーズにより広くお応えしていくことを目指すものです。

◇ ◇ ◇
整形外科の新設にともない、西能病院副院長の市村和徳医師が週2回（火曜・金曜各午前）、みなみ病院で外来を行い、浅野裕医師（みなみ病院管理者）とともに診療を担当いたします。



西能病院と共通の画像診断装置で診断中の市村医師

設備面では、手術室、画像診断装置（一般レントゲン撮影）、さらにデジタル画像管理システム（PACS）を新設し、西能病院との間で検査データなどの診療情報を共有することによって、より専門的な診療が可能



一新されたレントゲン撮影装置

な環境が整備されました。今後は患者さんの病状や治療方針によって両施設の役割を分担し、専門的な検査や手術治療が必要な方は西能病院で、投薬・注射による保存治療や継続的なリハビリが必要な方は、ご都合に合わせてどちらの病院でも診察が受けられます。

市村医師は「従来からみなみ病院には充実したりハビリ施設やスタッフがそろっていますし、このたび治療や診断の環境も整えられました。症状に応じて両病院の機能を使い分けるので、富山南部の患者さんで、腰や関節の痛み、手足の障害などでお悩みの方はお気軽にご来院ください」と話しています。

西能病院

食事の時間を楽しく

4月11日、患者さんの昼食メニューは、桜の開花に合わせた「お花見御膳」。タケノコご飯に刺身、ふきの煮物、菜の花の和え物など、季節の食材をふんだんに使った和定食です。

「病院の食事は治療の一環ではありますが、患者さんに食事の時間を楽しく過ごしていただく工夫も大切だと考えています」献立を作成する米原恭子管理栄養士は、若者から高齢者まで幅広い年齢層が入院される整形外科の病棟で、家庭料理の温かさを味わっていただきたいと、日々一汁三菜のメニューを思案しています。また摂食状態によって、食事の形態も、術後食や刻み食、ミキサー食など、きめ細かく個別に対応しています。

食器が変わりました

新病院のオープンに合わせて、食器も新調されました。白を基調としたモダンなデザインのものを選び、ご家庭で食べているような雰囲気を演出しています。また、食材の色や形もこれに合わせて変化をつけています。

目下の目標は一日も早く新しい環境に慣れて円滑な調理を進めるとともに、以前行っていた「選択メニュー」を復活させること。

楽しみにお待ちください



お花見御膳

予約専用ダイヤル 受付時間 月曜～金曜 8:30～12:00 / 1:30～5:00 受診前日までにお電話ください	整形外科診察予約 外来診察室直通	076-422-1552	再診の方のみご利用ください。 初診の方は直接ご来院ください。
	リハビリ再診予約 リハビリ治療室直通	076-422-1553	物療リハビリ(消炎鎮痛処置)の患者さんは 予約対応できません。

診療科	受付時間	平日診療(月～金)					休日診療(土・日・祝)	
		月	火	水	木	金	土	日・祝
整形外科	平日 午前8:30～11:30 休日 午前8:30～11:30	市村 和徳 信清 正典 青木 雅人	根塚 武 橋口 津 堂後 隆彦	山田 均 橋口 津 仲井間憲成 川口 善治	山田 均 根塚 武 仲井間憲成	山田 均 信清 正典 御旅屋宏史	信清 正典 青木 雅人 堂後 隆彦	交替制
	平日 午後3:00～5:00 休日 午後1:30～4:30	山田 均 御旅屋宏史	信清正典(4:00～) 仲井間憲成 青木 雅人	山田 均 市村 和徳 松下功(2:00～)	山田 均 堂後 隆彦 御旅屋宏史	山田 均 根塚 武 青木 雅人	市村 和徳 橋口 津 御旅屋宏史 西能 健 (第3または第4)	交替制
	平日(完全予約制) 午後5:00～6:30	堂後 隆彦	信清 正典	松下 功	橋口 津	青木 雅人		
リウマチ科	平日 午後2:00～6:00			松下 功				
リハビリテーション科		午前8:30～11:30 運動療法・物理療法	午後3:00～5:00 運動療法・物理療法	午後5:00～6:30 運動療法のみ		午前8:30～11:30 午後1:30～4:30 運動療法・物理療法 運動療法のみ		

西能病院

TEL 076-422-2211

富山市高田70番地
http://www.sainouhp.or.jp/

診療科	受付時間	平日診療(月～金)				
		月	火	水	木	金
内科	平日 午前8:30～11:30	森田 弘之	森田 弘之	松井祥子(～11:00) 森田弘之(11:00～)	森田 弘之	大黒 正志
	平日(金曜午後除く) 午後3:00～5:00	森田 弘之	森田 弘之	森田 弘之	森田 弘之	
麻酔科	平日(予約制) 午前9:30～11:30		増田 明 [顔面・眼瞼痙攣]			

★都合により変更になる場合があります。

★当院ホームページ上の「週間担当医表」にて、外来担当医師の週間スケジュールや休診・代診などの情報がご覧いただけます。最新情報をご確認ください。

西能みなみ病院

TEL 076-428-2373

富山市秋ヶ島145-1
http://www.sainouhp.or.jp/~minami/

午前9:00～12:00	月	火	水	木	金	土
内科	石原 元	森本 茂人	石原 元	石原 元	石原 元	石神 慶一郎
整形外科/リハビリテーション科	浅野 裕	市村 和徳	浅野 裕	浅野 裕	市村 和徳	浅野 裕

介護老人保健施設 **みどり苑**

TEL 076-428-5565

富山市秋ヶ島146-1
http://www.sainouhp.or.jp/~midori/

- 入所サービス
- ショートステイ
- デイケア(通所リハビリテーション)
- 居宅介護支援事業所

ボランティア募集 月・火・木・金の午前・午後
入浴後のドライヤーかけ/利用者様の活動サポート/話相手

お知らせ



■ 新入職員研修を行いました
 医療法人財団五省会では、4日間にわたり4施設の平成24年度新入職員26名の研修を行いました。
 看護師、介護士、理学療法士、社会福祉士、診療放射線技師など多職種の新人が一堂に会し、「医療や介護にたずさわる職員の心構え」をはじめ、「接遇の基本動作」「医療安全管理」「感染対策の基本」などを学びました。最終日には、「私は五省会で何をなすべきか」のテーマでグループ討議を行い、それぞれに抱負をいいて各職場での業務に就きました。

■ サンダーバース野球塾で食育指導
 4月17日、西能みなみ病院・館川美貴子管理栄養士は、富山サンダーバース野球塾塾生の保護者に「ジュニアにおけるスポーツ栄養」のテーマでジュニア世代に正しい食習慣を身につける方法を紹介しました。
 館川管理栄養士は、昨年県内初の(公財)日本体育協会・(社)日本栄養士会共同認定スポーツ栄養士を取得各種団体において、スポーツに必要な栄養学の知識の普及や食事環境の整備などの支援をおこなっています。また、県サッカー協会キッズ委員会のメンバーとしても活動中です。

